



NPO法人 たぬまアスレチッククラブ
令和7年度通常総会

令和7年6月1日(日)
午後6時00分～
DAIKYO アリーナ佐野

1 開 会

2 定数確認

3 議事録署名人指名 亀田トミ江 理事 宮澤和巳 理事

4 理事長あいさつ

5 議 事

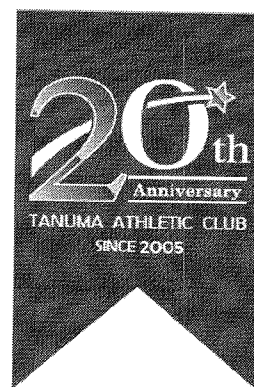
(1) 報告第1号 令和6年度 事業報告

(2) 認定第1号 令和6年度 歳入歳出決算

(3) 議案第1号 令和7年度 事業計画

(4) 議案第2号 令和7年度 歳入歳出予算

(5) 議案第3号 令和7、8年度期 役員選任



6 その他

(1) 創設20周年記念事業について

(2) 中学校部活動の地域連携・地域クラブ化実証事業について

(3) 賛助会員の募集について

(4) その他

7 閉 会

令和6年度特定非営利活動法人たぬまアスレチッククラブ
事業報告

I 会議関係

1 監査会

令和6年5月7日（月）於 TAC事務所 監事2名出席、事務局2名出席
・令和5年度の会計監査を実施した。

2 理事会

(1) 第1回理事会(定数10名 出席理事6名)

令和6年5月13日（月）於 田沼中央公民館

- ・理事会（総会）提出議案(令和5年度事業・決算報告資料、令和6年度事業・予算案)について協議した。
- ・令和6年度第Ⅰ四半期の事業内容について共通理解を図った。

(2) 通常総会(第2回理事会・第1回運営委員会)

令和6年5月27日（月）於 田沼中央公民館

正社員36名（理事・監事・運営委員）出席社員21名 委任社員9名 合計30名
社員以外の出席者 3名(監事、事務局員) 欠席社員 6名

- ・令和5年度事業及び収支決算を認定し、令和6年度事業計画及び収支予算及び関係議案について協議し承認を得た。
- ・令和6年度第Ⅰ四半期の事業内容(ゴルフ大会、賛助金募集、中学校部活動の地域クラブ化実証事業、全国レクリエーション大会2024とちぎ)についての概要を説明した。

(3) 第3回理事会

令和6年9月2日（月）於 田沼中央公民館 出席理事8名 欠席理事2名

- ・8月末の会員数を報告した。
- ・第Ⅰ・Ⅱ四半期の事業報告、収支報告を行い承認を得た。

ア 収支の現況

イ TACゴルフ大会の結果と決算

ウ 小学生軟式野球親善大会の結果と決算

エ 第Ⅱ・Ⅲ四半期の事業計画

オ 中学校部活動地域クラブ化実証事業の進捗状況

中学生の軟式野球クラブ(チーム)の活動開始手続きを進めるにあたり、当法人の名称を冠することで、チームの公益性が担保され関係者の理解が得られるとの知見から、全てのクラブチームにおいて当法人の名称を冠することの意義を確認した。

(4) 第4回理事会

令和6年12月9日（月）於 田沼中央公民館 出席理事8名 欠席理事2名

- ・11月末の会員数を報告した。
- ・11月末の収支現況を報告した。

- ・バスハイキングの実施状況と決算
- ・ぐるとちサイクルイベント「ツールド奥佐野」の事業とりやめに関する顛末を報告した。
- ・第Ⅳ四半期の事業計画
 - ア T A C C U P 少年サッカー大会
 - イ 新年祝賀会
 - ウ 新年度の会員募集について
- ・令和7年度日本スポーツ振興センター助成事業への申請について
- ・旅費規程の改正
- ・中学校部活動地域クラブ化実証事業の進捗状況

(5) 第5回理事会

令和7年2月3日(月) 於 田沼中央公民館 出席理事7名 欠席理事3名

- ・1月末の会員数を報告した。
- ・第2回T A C C U P 少年サッカー大会の結果と決算の報告
- ・令和6年度日本スポーツ振興センター助成事業申請内容について協議し、申請を決定。
- ・令和6年度日本スポーツ振興センター助成事業申請にあたり、スポーツ団体ガバナンスコードに基づく登録・自己説明について協議し、その内容の承認を得た。
- ・平成7年度の活動方針(案)を協議した。
- ・令和7年度の計画と課題について
 - ア クラブチームのチーム名標準化
 - イ 中学校部活動地域クラブ化実証事業業務受託について
 - ウ 謝金規定の改正
 - エ 周年記念事業
- ・役員改選について

3 運営委員会

(1) 第1回運営委員会

- ・通常総会(第2回理事会・第1回運営委員会)参照

(2) 第2回運営委員会

令和7年2月10日(月) 於 田沼中央公民館

正副理事長、出席運営委員12名、事務局2名 合計17名

- ・1月末の活動会員数報告
- ・令和6年度の活動実績、課題を各講座から発表
- ・令和7年度の活動方針(案)の説明と質疑
- ・謝金規定の改正についての説明
- ・令和7年度の各講座運営スタッフの選出について
- ・令和7年度の会員募集について
 - 佐野市政だよりへの広告掲載(3月号)

Ⅱ その他の会議 等

- 1 佐野市立田沼東・あそ野学園義務教育学校の「地域部活動」推進に関する会議 等
 - (1) 研修会
 - ア 第1回研修会 5月15日(木)午後7時～ 於 葛生義務教育学校
 - ・中学校の代表顧問と派遣する地域指導者との初会合
 - ・指導方針、指導内容、生徒の実態 等の情報交換
 - イ 指導者研修会 5月19日(日)午前9時～ 於 DAIKYO アリーナ佐野
 - 内容 救急救命措置に関する実技研修
- 2 県立佐野高校付属中学校の「地域部活動」推進に関する会議 等
 - (1) 研修会
 - ア 第1回研修会 5月10日(金) 午後4時20分～ 於 県立佐野高等学校
 - ・付属中学校と県教委担当者を交えて本年度の事業について協議した。
 - イ 部活動保護者会 5月24日(金) 午後6時～
 - ・男子バスケットボール部と女子テニス部、男子卓球部の保護者会を、リモート会議にて行った。
 - ・地域指導者と清水武治理事が出席した。
 - ウ 文化部の活動(ディベート部) を開始する。 1月18日(土)午後1時30分～
- 3 安足地区総合型地域スポーツクラブ連絡協議会関係
 - (1) 安足地区SCフェスタ打ち合わせ(清水武治理事が出席した)
 - 令和6年6月20日(木) 於 足利市民体育館
 - ・県及び安足地区のSCフェスタの持ち方について協議した。
 - ・県SC協議会役員候補者の選任、安足SC協議会役員及び事務局について協議した。
 - (2) 安足地区総合型地域スポーツクラブフェスティバル(安足SCフェスタ)
 - 開催日 10月25日(日) 午後7時～
 - 会場 旗川地区公民館
 - 内容 今後の安足地区総合型SC協議会のもち方及び役員、事務局クラブを確認した。
- 4 栃木県総合型地域スポーツクラブ連絡協議会に関する会議
 - (1) 第1回栃木県総合型地域スポーツクラブ連絡協議会総会
 - 開催日 5月12日(日) 午前9時00分～ 清水武治理事 出席
 - 会場 栃木県総合運動公園ユウケイ武道館
 - 内容 県総合型地域スポーツクラブ連絡協議会総会
 - 令和5年度の事業・決算報告、令和6年度事業計画・予算案 等
 - (2) 第2回栃木県総合型地域スポーツクラブ連絡協議会・とちぎスポーツクラブセミナー
 - 開催日 12月1日(日) 9時30分～ 清水武治理事 出席
 - 会場 栃木県総合運動公園ユウケイ武道館
 - 内容
 - ・リスクマネジメント～安全配慮義務～
 - ・登録・認証制度について
 - ・令和6年度総合型SCフェスタについて 等
- 5 関東ブロッククラブネットワーク2024

- 開催日 11月9日(土) 於 千葉市 ホテルポートプラザちば
出席者 清水武治理事 が出席
内容 ・運動部活動改革 等についてスポーツ庁担当者からの説明
・講義 クラブ運営のリスクマネジメント 等

Ⅲ スポーツ教室

3 B体操 エアロビクス(水・木コース) ヨガ 吹き矢 ラージボール卓球 リズム&ステップ
ソフトバレーボール かけっこ 駅伝 ミニバスケット ジュニアゴルフ ティーボール 中学
生軟式野球 中学生卓球 中学生ソフトテニス バレーボール(小学生男・女) 学童野球 レ
スリング サッカー(成人) ミニバスケット(ASONO) サッカー(TAC Kuzuu FC) 算数教室
英語教室 を開講

- ・活動会員数 752 名が、各講座の条件に合わせ活動に参加した。その活動会員数はのべ
1,177 名あり多くの会員が複数の種目に参加した。
- ・各講座週 1 回、年間 3 5 回開講、但し、ジュニアゴルフは毎月第 2, 4 火曜日の週 2 回開講し
た。
- ・のべ講座開設回数は、1,425 回で参加総数 35,734 人となった。
- ・佐野市運動施設使用に伴う受け入れ評価益は、3,499,930 円だった。

Ⅳ 交流会、交流大会

1 桜を見る会 ハイキング

- ・開催日 令和 7 年 3 月 2 9 日(土) 午前 1 0 時～
- ・参加者 雨天のため中止
- ・事業費 32,230 円

2 ゴルフ大会(第 1 5 回大会)

令和 6 年 7 月 2 日(火) 於 足利カントリークラブ多幸コース 7 2 名参加

- ・必要経費を差し引いた賛助金は 61,978 円だった。
- ・(株)遠藤食品様と長瀬産業(亀田トミ江理事)様から「とび賞」、読売センター田沼からニアピ
ン、ドラコン賞の寄贈を受けた。

3 第 2 回小学生軟式野球親善大会

- ・令和 6 年 7 月 1 5 日(月・祝)～ KONOIKE グリーンフィールド 他
- ・参加チーム 6 4 チーム 優勝 姿川第一野球クラブ 準優勝 犬伏 I H S クラブ
- ・大会は、スポーツ振興くじ助成金を活用し実施するとともに、特別協賛として(株)大協精工の
支援を受けて開催した。

スポーツ振興くじ助成金 538,000 円 (株)大協精工協賛金 100,000 円

T A C 負担金 126,838 円

4 バスハイキング

- ・11月3日(日) 於 横浜山下公園の散策と中華街 4 0 名参加 T A C 負担金 38,549 円
横浜赤レンガ倉庫～山下公園～元町通り～中華街

5 第 2 回たぬまアスレチックカップ少年サッカー大会

- ・ 12月21日(日) 於 ハートフル保険フィールド
- ・ 参加チーム 16チーム 優勝 Aブロック TOCHIGI KFC
Bブロック FC尾島ジュニア

・ TAC負担金 59,260円

6 コントリビュートカップ第46回関東学童軟式野球大会

- ・ 8月17日(土) 於 クライムスタジアムぬまた球場
- ・ 栃木県代表として田沼アスレチックBBCが出場
- ・ 初戦で埼玉県代表と対戦し惜敗した。

7 第38回全日本小学生男子ソフトボール大会

- ・ 8月3日(土) 埼玉県戸田市彩湖・道満グリーンパークソフトボール場
- ・ 初戦は木津キッズ(京都)に16対9で勝利し2回戦に進出したが、瓜生野スポーツ少年団(宮崎)に敗退

V その他の活動

1 和太鼓教室会員のつどい

- ・ 4月6日(土) 18:00～ アスター食堂
- ・ これまで和太鼓教室に関わりのあった会員が、指導者の瀧川佳宏さんを囲み活動を振り返る会を催した。

2 青色回転灯防犯パトロール

- ・ 佐野市出発式 10月11日(金) 11時00分～ 佐野市文化会館
- ・ 4月～3月まで実施 毎週水曜日 午後3時～ 1時間程度旧田沼町内を巡回
- ・ 隊員 17名を5班編成にして実施。
- ・ 青色回転灯を装備した車両…県公安委員会に3台登録

3 全国レクリエーション大会・栃木県総合型SCフェスタ

- ・ 9月8日(日) 於 宇都宮市ライトキューブ宇都宮
- ・ 全国レク大会のイベントとして、県内から13クラブが参加して各クラブの特色あるニュースポーツの交流活動を展開した。当クラブは「ティーボール」の体験コーナーを設けた。

4 栃木県サイクルイベント「ぐるとち」開催支援活動

- ・ 9月28日(土) 9:00～ 旧山形小学校
- ・ 栃木県が推進するサイクルイベントが開催され、わた8コースの旧山形小学校にて参加者支援活動(軽食、飲み物の提供サービス)を行った。
- ・ 横田誠理事長他18名のボランティアスタッフが協力した。

令和6年度 歳入歳出決算報告

総 括

1 はじめに

令和6年度の収支決算は、会員数がコロナ禍以前の状態に回復し、752名となった。また、大会会員の会費を値上げしたことで会費収入が予算額を上回った。
しかし、会費値上げの影響か賛助会費が激減した。
活動は計画した35回の活動回数をほとんどの講座で達成出来た。

2 歳入実績

受取助成	スポーツ振興くじ助成金は、軟式野球親善大会に538,000円の助成を受けて開催。予算執行に当たっては全ての内容において銀行振込みとなり、事務量が増えた。 伝統文化親子教室 は会員の激減により本年度から活動を取りやめた。 佐野市スポーツ協会より子どもの活動支援にボール購入費260,640円の支援を受けた。
大会協賛金	小学生親善野球の運営に対し協賛金が得られた。(大協精工100,000円、第一生命保険20,000円) ゴルフ大会の開催にあたり、長瀬産業佐野オフィス、読売センター田沼、遠藤食品(株)より賞品の提供を受けた。 また、当法人の活動全般に、田沼ライオンズクラブから50,000円の助成を受けた。
委託費	田沼東中学校とあそ野学園・葛生義務教育学校の部活動地域クラブ化実証事業として、佐野市教育委員会と委託契約をし事業の推進を図った。 契約に伴う予算額が大きく、他の事業と分離した経理処理が必要なことから、「事業費」の中でそれぞれの事業ごとに収支の記録を行い、清算処理を済ませた後の収支額を報告書に記すことで事業経費の見える化を図る事にした。また、県立佐野高校附属中学校での実証事業についても同様に処理する事にした。 二つの事業とも清算時に高額の返戻金が発生した。今後の当法人における予算執行で、実証事業の残高に捉われない判断が必要である。 本事業による当法人への収益は、一般管理費と事務局人件費を合わせ1,311,160円だった。

3 歳出実績

ア 事業費

人件費	指導者謝金は、予算内の支出で活動が展開された。 講座運営スタッフとサッカー帯同審判員謝金も予算内の支出であった。会議出席者に対する謝金に関しては、全国レク大会への参画や関東ブロックネットワークアクション、その他の会議、研修への積極的な派遣があったものの予算内の支出だった。
事業運営費	絆リレーは本年度から中止とした。小学生軟式野球交流大会の運営費は、1,168,850円でこの内538,000円をスポーツ振興くじ助成金で補った。参加費や協賛金で434,000円を補い、法人負担金は475,150円であった。 その他、桜を見る会やバスハイキング、サッカーTAC CUPの開催等を予算内で運営した。 次年度からは、各事業ごとの収支決算とし、収支の結果を本決算書に明示することにする。
印刷費	会員募集用パンフレットの印刷費は、23社から250,000円の支援が得られた。

消耗品費	各講座の要望を踏まえスポーツ用具の配置を行った。各講座の要望を出来る限り満したしたことにより対予算比296,630円増の支出だった。
保険料	全ての会員がスポーツ安全協会のスポーツ安全保険に加入した。 会員数の増に伴い支払い額も増えた。
奨励費	関係競技団体への登録料及び公式大会(大会要項により主催団体及び上位大会予選会の可否を確認、招待試合や親善大会、個人戦は受益者負担)への参加料を支援した。全体的には予算額を下回った。
委託費	収支決算書に示す通り、契約時の見積もり額に対し執行額は大幅に減額となっている。学校の都合により計画通りの活動回数が確保出来なかった事が大きな要因であり、今後の本事業展開の課題と捉えている。 当法人の必要経費(事務局員人件費と管理費:事業費の10%)は、市立スポーツ807,739円 市立文化206,474円 付属スポーツ288,641円 付属文化8,306円 合計1,311,160円だった。

イ 管理費

人件費	事務局員謝金は、中学校部活動地域クラブ化実証事業の受託に伴う事務量の急増に対応し、同事業で予算化された事務員賃金を予算額に上乘せし対応した。従って予算額を上回る執行となった。
その他の経費	全体的に節約に努めほぼ予算額を下回る決算を行うことが出来たが、郵便代は年度途中に料金の値上げがあり支出増になった。

4 繰越金

前年度繰越金	1,269,811 円
当期正味財産増減	1,001,821 円
次年度繰越額	2,271,632 円

5 総評

本年度の収支決算は、会費値上げに伴い会費収入が増加した。また、佐野市スポーツ協会の子どもたちへのボール購入支援は大変ありがたいことであった。

中学校部活動地域クラブ化実証事業は、多くの事務作業を伴うことであるが、当法人の財源確保にとって大変有効だった。

活動面では、猛暑の影響を受けたものの年間を通してはほぼ予定通りに展開することが出来た。

今後、夏の暑さや市民のスポーツに対する意識の変化、諸物価の高騰、特に子どものスポーツ離れが顕著になる傾向を踏まえ、当法人の運営の基本である公益性を大切に、スポーツ環境の厳しさに臨機応変に対応して行きたい。

結びに、自前の施設を有しない当法人の活動は、施設利用にあたり施設の管理者(佐野市の指定管理者を含む)との連携がとても大切である。活動開始時刻や終了時刻の厳守、終了時の現状復帰(戸締り、清掃等)等を全ての会員が共有し、今後も信頼関係の構築に配慮していきたいと思います。

令和6年度 NPO法人 たぬまアスレチッククラブ歳入歳出決算

(歳 入)

科 目	本年度予算額	本年度決算額	増減	摘 要	備 考
1 受取会費					
正会員受取会費	6,825,000	7,508,000	683,000	大会員 4,577,000円 子供会員 2,931,000円	後期会費減額制度有
賛助会員受取会費	500,000	178,458	▲ 321,542	賛助会員55名(事業所) ゴルフ大会参加者賛助金(61,978円)	
パソレット作成協賛金	250,000	260,000	10,000	24事業所より	
2 受取助成金					
スポーツ振興センター	538,000	538,000	0	スポーツ振興くじ助成金(軟式野球親善大会)	
文化庁助成金	0	0	0		次年度廃科目
公益助成金	20,000	230,000	210,000	佐野市全国大会・バレーボール、ソフトボール、レスリング・出場壮途金	
民間助成金	170,000	340,640	170,640	佐野市スポーツ協会(260,640円) 県スポーツ協会(30,000円) 県レスリング協会(50,000円)	
3 その他の収益					
受取利息	19	1,044	1,025	預金利子	
事業収入	472,000	579,997	107,997	野球大会参加料(384,000円) 野球大会関係 市スポーツ教室開催費	
寄付金	10,000	370,000	360,000	大会協賛金 (大協精工100,000円 田沼ライオンズクラブ`50,000円 第一生命20,000円)	
その他の雑収益	52,539	52,000	▲ 539	佐野市スポーツ少年団事務局費(50,000円) 安足SC協議会(2,000円)	
4 委託費	9,596,631	5,601,370	▲ 3,995,261		
市立中学校スポーツ		4,149,635			
市立中学校文化クラブ	8,300,000	516,719			
佐野高附中学生スポーツ	1,296,631	898,650			
佐野高附中文化クラブ		36,366			
当期経常費用	18,434,189	15,659,509	▲ 2,774,680		
5 前期繰越金	1,269,811	1,269,811	0	前年度繰越金	
合 計	19,704,000	16,929,320	▲ 2,774,680		

(経常費用)

(単位：円)

事業費

科 目	本年度予算額	本年度決算額	増減	摘 要	備 考
1 人件費					
講座指導者謝金	3,000,000	2,664,000	▲ 336,000	各講座指導者謝金	
運営スタッフ謝金	500,000	456,500	▲ 43,500	各講座運営スタッフ謝金	
サッカー審判員派遣費	70,000	66,000	▲ 4,000	サッカー県リーグ帯同審判員謝金	
その他の謝金	100,000	685,000	585,000	全国・関東・県・安足各SC協議会参加謝金 会議出席者謝金 野球大会審判謝金	
人件費計	3,670,000	3,871,500	201,500		

科 目	本年度予算額	本年度決算額	増減	摘 要	備 考
2 その他の経費					
事業開催費	1,460,000	989,210	▲ 470,790	野球大会1,243,903円(内TAC負担126,838円) バスハイク負担額(38,549円) 全国バレー大会 桜を見る会 他	
会場費	1,000	0	▲ 1,000		
会議費	75,000	42,160	▲ 32,840	理事会・運営委員会出席者旅費 監査会経費 等	
印刷費	150,000	234,840	84,840	リーフレット印刷 野球・サッカー大会プログラム印刷	
旅費、交通費	120,000	56,023	▲ 63,977	代表者会議・監督会議等派遣旅費	
通信費	30,000	15,656	▲ 14,344	切手代、ゆうメール委託費(事業)	
消耗品費	500,000	796,630	296,630	各講座運営用スポーツ用具、消耗品 等	
保険費	800,000	885,126	85,126	スポーツ安全保険(スポーツ安全協会)、スポーツ・文化法人責任保険(スポーツ安全協会)	
奨励費	1,020,000	829,760	▲ 190,240		
協会登録料	300,000	256,760	▲ 43,240	スポーツ少年団登録料(144,500円) 競技団体登録料(112,260円)	
大会参加料	600,000	518,000	▲ 82,000	大会参加料	
その他(諸会費)	120,000	55,000	▲ 65,000	県社会人サッカー連盟会費(40,000円) 3 B 体操連盟会費 等	
役務費	80,000	186,380	106,380	振込手数料 広報さの広告委託費(88,000円) 印紙代 LinkerBei利用料	
雑費	50,000	77,030	27,030	新年会賄費 接待湯茶 等	
地域クラブ運営費	7,834,500	4,290,210	▲ 3,544,290		TAC戻入総額
市立中学校スポーツ		3,341,896		TAC事務経費戻入807,739円 合計戻入額1,014,213円	807,739 1,311,160
市立中学校文化クラブ	6,537,868	310,245		TAC事務経費戻入206,474円	206,474
佐野高附中スポーツ		610,009		TAC事務経費戻入 288,641円 合計戻入額 296,947円	288,641
佐野高附中文化クラブ	1,296,632	28,060		TAC事務経費戻入 8,306円	8,306
その他の経費計	12,120,500	8,403,025	▲ 3,717,475		
事業費 計	15,790,500	12,274,525	▲ 3,515,975		

管理費

(単位：円)

科 目	本年度予算額	本年度決算額	増減	摘 要
1 人件費				
謝金	1,620,000	1,915,050	295,050	クラブマネージャー・サブマネージャー謝金(地域クラブ事業含)
事務局員交通費	96,000	94,800	▲ 1,200	事務局員交通費 (@200円)
人件費計	1,716,000	2,009,850	293,850	
2 その他の経費				
防犯パトロール	41,500	40,160	▲ 1,340	安全の集い 他の参加経費 パトロール隊旅費 隊員謝礼品代
旅費	80,000	9,561	▲ 70,439	会議・研修会等派遣出席者旅費
参加費・会費	80,000	43,200	▲ 36,800	県連絡協議会々々費、県スポ協賛助金 あそ商工会会費 会議・研修会等参加者謝金
通信費	100,000	114,960	14,960	切手代 ゆうメール代(管理) インターネット環境維持費(14,278円) 電話代(76,457円)
事務消耗品	100,000	127,801	27,801	事務用具(プリンターインク、コピー用紙、印刷機消耗品、その他事務用品費)
備品費	100,000	0	▲ 100,000	
修繕費	10,000	0	▲ 10,000	
役務費	5,000	9,240	4,240	銀行振込手数料 ネットバンク使用料
慶弔諸費	150,000	13,991	▲ 136,009	花束代 手土産品 等
雑費	5,000	14,400	9,400	
予備費	1,526,000	0	▲ 1,526,000	
その他の経費計				
	2,197,500	373,313	▲ 1,824,187	
管理費計				
	3,913,500	2,383,163	▲ 1,530,337	

経常費用計
 今期増減額
 前期繰越額
 次期繰越額

19,704,000 14,657,688 ▲ 5,046,312
 1,001,821
 1,269,811
 2,271,632

2024(令和6年)年度収支決算を上記の通り報告いたします。

令和7年6月1日

特定非営利活動法人たぬまアスレチッククラブ理事長 横田 誠

監 査 報 告

2024年度(令和6年度)末、会計監査

2024年度(令和6年度)特定非営利活動法人たぬまアスレチッククラブの会計事務について、令和7年5月15日(木)午前9時より、法人事務所において監査をした結果、正確に処理されており、収入・支出に関する帳簿・証拠書類とも適正に管理されていることを認めます。

令和7年6月1日

特定非営利活動法人たぬまアスレチッククラブ

監事

岩崎克彦 

監事

藤沼真司 

令和 7 年度 特定非営利活動法人たぬまアスレチッククラブ事業計画 活 動 方 針

○ 令和 7 年度の活動方針策定にあたって

- (1) 年間を通して計画的に活動を展開し、各講座の充実を図るとともに、イベント事業を通し会員相互の親交を深め、会員ひとり一人のメンバーシップを高める。
- (2) 会員の自助・共助の絆により当法人の基幹となるクラブチームの強化を図り、総合型地域スポーツクラブ「たぬまアスレチッククラブ」の認知度を高め、当法人の活動に対する市民の理解と支援の輪を一層広める。しかし、子どもの身体的、精神的負担及び各家庭の負担増による、「スポーツ離れ」を生じてしまうことは本末転倒の仕業であり、活動時間や場所、頻度等を十分に配慮し、子どもたちが末永くスポーツを楽しむ環境の維持に徹する。
- (3) 域内中学校の休日の部活動を「地域クラブ化」するにあたり、運営主体となり積極的に支援し、学校との連携を図り、休日の部活動が地域スポーツクラブに移行し、安全に安心して活動出来る環境を整える。具体的には、中学校の部活動を補完する活動から「地域クラブ化」＝「たぬまアスレチッククラブの活動種目化」に向けた取り組みとして、卓球とソフトテニス女子の講座を継続するとともに、バスケットボール、バレーボール等、中学生と小学生が共に活動できる講座の運営を試行し、令和 6 年度に活動を始めた中学生軟式野球の設立業務を参考にし、環境の整った種目から順次クラブチームの設立に向けた取り組みを始める。
- (4) 当法人の活動理念は、スポーツを活かした健康の保持増進、子どもの健全な育成、地域コミュニティづくりであることを全ての会員と共通理解し、参加の強要や勝利第一主義、暴力・暴言、ハラスメント行為など絶対にあってはならないと全ての会員が自覚し、健全なクラブ運営に努める。

○ NPO 法人たぬまアスレチッククラブの理念(活動目標)

- ・ スポーツの好きな大人が、子どものスポーツ活動を支援する。
- ・ スポーツを通して、地域の人々のコミュニケーションを深める。
- ・ スポーツで健康と豊かな心を育む。

○ 活動の具体策

ア 役員について

- (ア) 社員（運営委員）と理事の連携強化を図り、役員個々のクラブの成長に対する熱い思いをクラブの運営に反映する。
- (イ) 運営委員及び代表指導者のリーダーシップと指導者間の協力体制を強化し、関係者間の連携を図り、各講座の充実した活動に資する。

イ 会員の募集について (ア) クラブ会員・・・広報活動を強化し、会員の確保に努める。

- (イ) 郵便振替用紙を用いた入会手続きにより、入会者の管理を徹底する。

ウ 賛助会員の募集

- (ア) 一口 1,000 円で「無理なく」「毎年継続して」の方針を維持する。
- (イ) 役員、会員の努力により目標の 200 口の達成を目指す。
- (ウ) 会員募集用チラシ発行の経費として、一口 10,000 円の広告会員を

30口目標に募集する。

エ 各講座の運営・・・令和7年度の主な留意点

(ア) 流行性の感染症や熱中症対策等に関して

- ・ 講座開催の可否は、行政各機関の指針を参照にして運営委員及び指導者が判断する。
- ・ 活動を展開するにあたっては、各施設の使用上のきまりを遵守するとともに、これまで蓄積して来た『感染症対策』を生かす。また、近年の温暖化による「熱中症対策」は、各講座の実態に基づき安全安心を第一義とし、関係機関から発出される注意予報を的確に把握した上で活動する。
- ・ 近年スポーツ活動中の事故として散見される、活動中突発的に発生する強風や落雷への対応として、活動地域周辺の雲の動きや風の変化に十分留意し、予見に基づき適切に判断をして指示、指導の徹底を図る。そして、こうした事故の責任の全ては指導者側にあることを常に念頭に置いた指導を展開する。

(イ) 新たに開講する講座

- ・ 小学生のバレーボールチームは「女子チーム」と「男子チーム」に分かれた活動になって2年目となることから、スポーツ少年団への登録に関しても独立した単一団として登録する。

登録に必要な有資格指導者の確保はそれぞれの単位団で取り組む。

- ・ 「ピラティス」講座を開講する。

水曜日 午後7時～午後8時 会場 三好地区生活改善センター

講師 新井清代 さん（赤見町在住）

水曜日に開講している小学生が参加する講座の保護者をターゲットに、子どもを送迎する時間帯を活用し、手軽に健康づくりに資する体操教室への誘導を図る。

(ウ) 本年度から開講を止める講座・・・なし

(エ) 会員について・・・活動会員の最低人数は20名とする。20名に満たない講座は「サークル活動」として維持する。(但し、ゴルフを除く)

※ サークル活動とは・・・指導者謝金の対象外。但し、指導者又は運営スタッフ1名依頼する。

※ 運営スタッフの配置・・・活動会員が40名を超えた場合は運営スタッフを配置し、指導者の負担軽減を図る。

※ 指導者の役割分担をより明確にし、主となって指導展開をする代表指導書と、代表（指導者）を補佐するコーチ及び運営委員とし、それぞれに対し謝金の支払いを行う。

(オ) 活動の回数・・・1講座につき週1回、年間35回以内とする。但し、エアロビクスは昼の部（水曜日）と夜の部（木曜日）を開講する。

- ・ 活動会員の要望により週1回以上、年間35回以上の活動については、NPO法人会計基準に準拠し、「ボランティア受入評価益」として処理する。

特にクラブチームの活動については、大会や練習試合への対応で35回以上の活動となることは容易に想像出来るが、財政基盤が整うまでは、謝金支払いの対応は35回を維持する。

・活動記録に関しては、関係機関からの「調査」に対する回答の精度をより高める上からも、正確さと適時性を願います。

また、公共施設使用にともなう「申請書」及び「使用許可書」の処理に関しても、施設管理者との信頼関係構築を図るためにもより徹底を図る。

特に、諸般の都合により施設利用をキャンセルする場合は、必ず事務局に連絡し所定の手続きを取る。

(カ) 活動の曜日、場所・・・計画通りに行なえるよう会場の確保に努める。活動予定はホームページ及び会員向け連絡アプリ「Rinker Bell」にて周知する。

また、指導者や会員の意向で活動日・会場を変更する場合は、事務局への連絡を受け、事務局が所定の手続きを行う。

(キ) 指導者謝金・・・当法人の謝金規定に従い支払い事務を進める。

(ク) 消耗品費・・・予算の範囲内で対応する。大きな金額を要するものは事前に相談し対応する。
但し、希望通りにならないことも十分にあり得るので、その場合は「受益者負担の原則」に従い対応してもらう。

(ケ) 奨励費・・・申請により、規程に従い予算の範囲内で支援する。

・登録料…スポーツ少年団の団員と指導者登録、3B体操協会登録を除く個人の登録に要する経費を除く

例 公認指導者資格や審判員資格の登録関係競技団体への個人の
登記や登録 等

・参加料(個人や個人戦を除く、チーム・団体戦の参加料に限る。)

・帯同審判員…サッカーの県リーグ戦を対象とし、市サッカー協会審判部から派遣された有資格の審判員に対し、謝金一日3,000円を支払う。

・交通費は、大会参加、練習試合を含め受益者負担とする。但し当法人を代表しての会議や研修会への出張経費は旅費規程に従い必要経費(実費)を支弁する。

(コ) 傷害保険への加入

・法人の賠償責任保険・・・(公財)スポーツ安全協会の「スポーツ・文化法人責任保険」に加入し、当法人の対人・対物事故等の損害賠償責任に対応する。

・会員の傷害と賠償責任保険・・・(公財)スポーツ安全協会「スポーツ安全保険」に加入し、会員の活動中の傷害・賠償責任に対応する。

(サ) 会費について

・子ども会員の年会費を10,000円に改正する。大人会費は据え置きとする。

背景

・クラブチームの登録料や大会参加料の微増に対応するため。

・指導者に対する謝金支払いの対象者を増員し、活動中の事故防止に尚一層対応できる体制を整えるとともに活動のより充実に資する。

オ クラブチーム名の名称標準化

当法人のクラブチームは、これまでチーム設立の経緯や関係者の意向を尊重し、チームカラーを反映した名称を定め関係団体に登記、登録してきたところですが、新聞やケーブルテレビ等の媒体による大会結果の報道や市民の理解 等において、統一性を欠くことへの課題が見えて来ました。

そこで、クラブチーム名の名称標準化を図るべき必要性が生じて来ました。

理事会において協議した結果、令和7年度の登録から次の通りとすることに決定しました。

チーム名の冠に 「たぬまアスレチッククラブ」 又は 「たぬまAC」 を付する。

冠以降は、競技種目名やその略称、理念を付すことも可とする。(無名もあり得る)

カ イベント活動 ～ 令和7年度は、当法人の活動を始めてから20年の節目となることから、

「創設20周年記念事業」の冠を付して各事業を展開する ～

(ア) 第3回TAC CUP小学生軟式野球交流大会

7月19、21、26日 ～ 8月3日 祝日・土・日曜日

於 田沼グリーンスポーツセンター 他

県内外から高学年で編成する64チーム、低学年で編成する16チーム、合計80チームを募集する。

スポーツ振興くじ助成金を申請中。

(イ) 第3回TAC CUP 少年サッカー大会

5月17、18日(土・日) 於 佐野市運動公園

県内外からU10、U12の各16チームを募集する。

TAC KUZUU FCとACたぬまPRIMOが連携し大会を運営する。

(ウ) ゴルフ大会 7月1日・火曜日 於 足利カントリークラブ多幸コース 20組80名募集

(エ) 会員交流会

- ・これまでのバスハイキングに代わる交流活動を企画したが、コストがかかり過ぎるため、今年度もバスハイキングを検討する。

(オ) 安足地区総合型SCフェスタ

- ・未定(予算措置がないため今後の開催はなくなると思われる。)

(カ) 栃木県総合型SCフェスタ

- ・県内で参画クラブを公募中・・・とちぎスポーツフェスタ 2025

シンボルイベント(於 県庁前広場)

4クラブ参加

・・・気軽にスポーツ

参画クラブの計画による

4クラブ参加

- ・TACは希望なし

令和7年度事業計画(案)

内容		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
会 議	理事会(総会) 運営委員会 実行委員会 等		会計監査 5/15 (木) 9:00～	理事会① 5/19 (月)			理事会③ 9/1 (月)				理事会④ 1/26 (月)	理事会⑤ 2/14 (土)	
				総会② 6/1 (月)								運営委員会 2/14 (土)	
スポーツ講座		① 大人のピラティス教室を開講した。 ② 各講座週1回 年間35回以内の開講を継続 ③ 中学校の部活動地域クラブ化実証事業は最終年度となり、次年度からの本格実施に向け最終段階となる。											
交 流 大 会	スポーツ交流 大会等	桜を見る会 ハイキング 3/29 (土)	TACCU Pサッカー 5/17.18 運動公園		ゴルフ大会 7月1日 (火) 足利CC 多幸コース	学童野球 親善大会 7/19 (火・祝)		バス ハイキング 福島の前葉 10/5 週平 日				関係者 懇親の集い 20年の祝い 2/14 (土)	
	視察・調査活動												
研 修 会 等 開 催 ・ 参 加		講習会・研修 会の開催	地域クラブ 活動 推進研修会 5/17 (土)	地域クラブ 活動 推進会議 5/21 (土)								地域クラブ 活動 推進研修会 2/未定 ()	
		日体協・県体 協議会・研修 会等出席	県SC連絡 協議会総会 5/11 (日)		県SC連絡 協議会 8/3 (日)				関東プロ SCネットワー ク 11/8～9 (土・日) 熊谷	県SC連絡 協議会 11/30 (日)			
		講習会・研修 会への参加								スポ少 スター コーチ講習 12/20 (土)			
		その他の活動		市スポーツ少 年団総会 5/12 (月)									

令和7年度 歳入歳出予算編成方針（案）

1 はじめに

令和6年度はコロナ禍の影響がすっかりと消え、会員数が700名台に回復し、会費収入により成り立つ当法人の経理は安定化した。しかし、社会経済は様々な要因が絡み「値上げラッシュ」となっており、その影響は事務局経費や消耗品の調達、大会参加料や登録料に及んだ。

令和7年度は、会員数の維持が期待されるとともに、中学校部活動の地域クラブ化実証事業の受託による、契約額の10%の管理費と事務処理に関わる人件費の収入が見込まれる。

そうした中であって、指導者の理想的な員数配置と安定的に継続した配置が図られるように努める必要性から、従来の指導者、運営委員に加え、有償の指導スタッフ(コーチ)を配置することにした。その経費を確保するために子ども会員の会費を10,000円とする。

2 収入の見込み

- 受取会費 大人会員330名 子供会員330名(10%増)で予算化。
会費については、子供会員の会費を1千円値上げする。
- 賛助会費 ・個人協賛金(一口1,000円)は、昨年度大幅に減った。各講座での呼びかけを通し例年の半数200口を目標にする。また、7月1日(火) ゴルフ大会を計画し80名の参加を見込んでいる。
・広報賛助金は、年度末に行う新年度会員募集リーフレット作成に対する協賛金とする。目標30社300,000円
- 受取助成金 ・スポーツ振興くじ助成金
昨年度採択された小学生軟式野球親善大会は、本年度 624,000円の交付内定通知を受けた。同時に申請したTACCUPサッカー大会は、大会規模が補助対象必要額に満たず採択にならなかった。次年度に向けて運営方法を検討したい。
・民間助成金 佐野市スポーツ協会及び栃木県レスリング協会からの助成金を計上する。
- 事業費 ・事業費については、主催事業毎に経理し、その収支決算額のみを予算書に計上することにする。そうすることにより、各事業の収支状況が明らかになるとともに、収支記録の単純化を図りたい。(事業収入予算額－事業支出予算額=当法人負担予算額)
- 雑収入 佐野市スポーツ少年団事務局費として50,000円を予算化
安足協議会より活動支援としての2,000円を予算化
- 委託費 本年度の「中学校部活動地域移行」については、田沼東中学校とあそ野学園・葛生義務教育学校の合同部活動及び県立佐野高校附属中学校を展開する。
また、下半期以降、旧佐野市内5校での実証事業が動き出す。市教委との事務の分担を図りつつ受託団体として関わることになる。それに伴い、当法人の全体予算が大きな額となる。展開の方法が未確定な状況で、事務経費(10%)の金額は予測困難である、さらに、消費税の納入義務が生じることになる予想から、年度末決算まで金額を予測出来ない。そこで事業費同様、収支管理は当法人の会計と分けて処理するとともに、決定額のための収支報告とする。

3 支出の見込み

ア 事業費

人件費

講師謝金は講座の開催回数35回で予算化。20名以上の活動会員の講座に謝金を支払い、40名以上の活動会員に対し1名の有償運営委員を配置するとともに指導者を補佐する有償コーチを配置する。尚、35回以上の活動に対する謝金は「ボランティア益金」として処理をする。

交通費

チームを代表して参加する代表者会議・監督会議・ルール改正の説明会等の研修機会への参加旅費を当法人の旅費規程により支弁する。

事業運営費

主催事業の実施にあたり、参加料と協賛金、助成金、補助金等で賄えない不足額は当法人が支援する。

各主催事業毎に収支記録、領収書を管理する。決算報告書では、収入の結果と支出の結果を示し、差額が当法人の収支となる。

消耗品費

各講座から希望品目を調査し、予算の範囲内で整備する。

保険料

対人・対物賠償や熱中症への対応が可能なスポーツ安全協会のスポーツ安全保険に全会員が加入する。

奨励費

大会への参加料・登録料を予算化。但し個人の登録料と交流・招待大会への参加料は受益者負担とする。

また、有資格指導者の確保する観点から、資格取得に必要な経費及び資格更新のための研修会参加経費の一部助成を研究していく。

イ 管理費

人件費

・栃木県の最低賃金が改定されたことに伴い、1時間あたりの賃金を1,200円に改める。

会議出席、法人の業務に従事(代表者会議、監督会議を含む)等に適応する。

・支給対象勤務時間については、当法人の業務遂行に必要な勤務時間(月60時間)を維持するとともに、部活動地域クラブ化に伴う事務については、契約に示

予備費

される管理費等、将来的な会員の減少をふまえ、予備費で管理する。

クラブ創設20周年の記念事業に伴う経費を予備費で処理する。

令和7年度 NPO法人 たぬまアスレチッククラブ歳入歳出予算書(案)

(収 入)

(単位：円)

科 目	前年度予算額	本年度予算額	増減	摘 要	備 考
1 受取会費	7,575,000	8,420,000	845,000		
正会員受取会費	6,825,000	7,920,000	1,095,000	大人330人×14,000円=4,620,000円 子供330人×10,000=3,300,000	
賛助会員受取会費	500,000	200,000	▲ 300,000	1,000円×200口(ゴルフ大会参加者を含む)	
パソコン印刷協賛金	250,000	300,000	50,000	10,000円×30口	
2 受取助成金	728,000	715,000	▲ 13,000		
スポーツ振興センター	538,000	624,000	86,000	スポーツ振興くじ助成金(軟式野球親善大会)	
公益助成金	20,000	1,000	▲ 19,000		科目存置
民間助成金	170,000	90,000	▲ 80,000	佐野市スポーツ協会、栃木県レスリング協会 他	
3 その他の収益	534,558	1,081,603	547,045		
受取利息	19	1,603	1,584	預金利子	
事業費	472,000	1,018,000	546,000		
交流活動	50,000	200,000	150,000	交流活動参加料	
少年サッカー大会	200,000	194,000	▲ 6,000	大会参加料、協賛金	
小学生軟式野球大会	200,000	584,000	384,000	参加料、協賛金	
その他の事業	22,000	40,000	18,000	スポーツ教室運営費	
寄付金	10,000	10,000	0		科目存置
その他	52,539	52,000	▲ 539	佐野市スポーツ少年団事務局費(50,000円) 安足SC協議会	
4 委託費	9,750,956	21,097,765	11,346,809		
市立中スポーツ	7,150,000	16,561,000	9,411,000		
市立中文化	1,148,400	1,612,000	463,600		
佐野高付中スポーツ	1,338,871	2,624,765	1,285,894		
佐野高付中文化	113,685	300,000	186,315		
5 前期繰越金	1,269,811	2,271,632	1,001,821	前年度繰越金	
合 計	19,858,325	33,586,000	13,727,675		

(経常費用)

(単位：円)

事業費

科 目	前年度予算額	本年度予算額	増減	摘 要	備 考
1 人件費					
講座指導者謝金	3,000,000	2,975,000	▲ 25,000		
運営スタッフ謝金	500,000	1,295,000	795,000		
サッカー審判員派遣費	70,000	70,000	0	県社会人リーグ帯同審判員謝金	
その他の謝金	100,000	100,000	0		
人件費計	3,670,000	4,440,000	770,000		
2 その他の経費					
事業運営費	1,460,000	1,950,000	490,000		
交流活動		400,000		バスハイキング負担金 桜を見る会ハイキング経費	
少年サッカー大会		300,000		大会運営費(参加料、協賛金を含む)	
小学生軟式野球大会	1,460,000	1,200,000		大会運営費(参加料、協賛金を含む)	
その他の事業		50,000			
会場費	1,000	0	▲ 1,000		科目存置
会議費	75,000	75,000	0	理事会、運営委員会、指導者研修会 開催経費	
印刷費	150,000	150,000	0	会員募集パンフレット印刷代	
旅費、宿泊費	120,000	120,000	0	全国・関東・県SC協議会参加旅費、宿泊費 各種大会監督会議・代表者会議等旅費	
通信費	30,000	50,000	20,000	事務連絡通信費(切手、ゆうメール委託費)	
消耗品費	500,000	700,000	200,000	各講座消耗品費	
保険費	800,000	900,000	100,000	傷害保険料(スポーツ安全協会) 法人賠償責任保険(スポーツ安全協会)	
奨励費	1,020,000	860,000	▲ 160,000		
協会登録料	300,000	250,000	▲ 50,000	スポーツ少年団登録料 チーム登録料(個人登録は自己負担)	
大会参加料	600,000	550,000	▲ 50,000	公認大会参加料(交流大会・招待試合等は自己負担)	
その他	120,000	60,000	▲ 60,000	当法人の運営上必要な事業への登録・参加料	
役務費	80,000	70,000	▲ 10,000	LinkerBell運営費 等	
雑費	50,000	20,000	▲ 30,000		
地域クラブ運営費	7,834,500	17,823,860	9,989,360		
市立中学校スポーツ	6,537,868	14,345,480			
市立中文化		1,159,030			
佐野高附中心スポーツ		2,069,350			
佐野高附中文化クラブ	1,296,632	250,000			
その他の経費計	12,120,500	24,668,860	12,548,360		
事業費計	15,790,500	29,108,860	13,318,360		

(管理費)

科 目	前年度予算額	本年度予算額	増減	摘 要
1 人件費				
謝金	1,620,000	2,592,000	972,000	事務局謝金 (@1200×60時間×12月=864,000円)×2人分 地域クラブ活動事務手当 (@1200×30時間×12月=432,000円)×2人分
事務局員通勤費	96,000	96,000	0	事務局員交通費 (@200×20日×12月=48,000円)×2人分
人件費計	1,716,000	2,688,000	972,000	
2 その他の経費				
防犯パトロール	41,500	25,000	▲ 16,500	パトロール交通費 隊員謝礼 会議等出席謝金
旅費	80,000	30,000	▲ 50,000	研修会(指導者資格取得、資格更新 等)参加者旅費
参加経費・会費	80,000	80,000	0	県連絡協議会々々費、県スホ協賛助金 研修会・懇親会等の会費 会議・研修会等参加者謝金
通信費	100,000	120,000	20,000	電話料金 インターネット環境維持費
事務消耗品	100,000	100,000	0	事務用具(プリンターインク、コピー用紙、印刷機消耗品、その他事務用品費)
備品費	100,000	100,000	0	
修繕費	10,000	10,000	0	物品修理費用
役務費	5,000	15,000	10,000	銀行振込手数料、ネットバンキング使用料
慶弔諸費	150,000	30,000	▲ 120,000	慶弔費
雑費	5,000	30,000	25,000	
予備費	1,526,000	1,249,140	▲ 276,860	創設20周年記念事業

その他の経費計

2,197,500 1,789,140 ▲ 408,360

管理費計

3,913,500 4,477,140 563,640

経常費用計 19,704,000 33,586,000 13,882,000

2025(令和7年)年度収支予算(案)を上記の通り提案いたします。

0

令和7年6月1日
特定非営利活動法人たぬまアスレチッククラブ理事長

令和 7 年度
特定非営利活動法人たぬまアスレチッククラブ
役 員 名 簿

部外秘
取扱注意

○ 理事（10名）・監事（2名）

理 事				
監 事	蓼沼 貞司 岩崎 克彦			

○ 事務局員（2名）

クラブマネージャー	清水 武治			
サブクラブマネージャー	儀同美和子			

○ 正会員（運営委員・指導者・活動会員）を代表する10名の社員（10名）

役職名	氏 名	住 所	電 話	備 考
社 員	青木 道子			
	尾崎美樹生			
	齋川 勝			
	関口 伸一			
	松本 政和			
	八下田智明			
	山口 勇藏			
	野村 隆一			
	相子 秀夫			
	菅谷 晴美			

○ 正会員・運営委員（27名）

	種目名	氏 名	住 所	電 話	備 考
1	リズム&ステップ	菅谷 晴美			
2	エアロビクス	本郷 栄子			
3	ラージボール卓球	関口 伸一			
4	ヨ ガ	西沢 淳子			
5		藤川 雅子			
6	3 B体操	青木 道子			
7		清水由美子			
8	ピラティス	新井 清代			
9	ソフトバレーボール	森川 薫			
10	ジュニアゴルフ	桐林 宏光			
11	駅 伝	松本 政和			
12	かけっこ	宮澤 和巳			
13	ティーボール	金井田厚子			
14	ミニバスケット	小磯 良輔			
15	中学生ソフトテニス	相子 秀夫			
16	中学生卓球	渋田 雅史			
17	たぬま AC ASONO	野村 隆一			
18	たぬまアスレチック BBC, With, Neo	金井田厚子			
19	TACレスリング	八下田智明			
20	たぬま アスレチック V	石澤 紫			
21	たぬまアスレチック R I S E	若田部 賢			
22	たぬまアスレチック F C	高橋 雄二			
23	たぬまアスレチック P R I M O	山菅 優佑			
24	中学生軟式野球	金井田 貴			
25	さんすう教室	平岡 達哉			
26	英語教室	儀同美和子			
27	吹き矢	蓼沼 貞司			

○ 指導者（４８名）

	種目名	氏 名	住 所	電 話	備 考
1	リズム&ステップ	丸山 利子			
2	エアロビクス	本郷 栄子			
3	ラージボール卓球	関口 伸一			
4	ヨ ガ	齋藤 洋子			
5	３Ｂ体操	仲矢 美穂			
6	ピラティス	新井 清代			
7	ソフトバレー	森川 薫			
8	ジュニアゴルフ	桐林 宏光			
9	駅 伝	松本 政和			
10		小林 淳輝			
11		山口 勇藏			
12		福田 一道			
13		川鍋 和洋			
14	かけっこ	宮澤 和巳			
15		林 達也			
16		大島 智			
17		能手 宣拓			
18	ティーボール	金井田 貴			
19		新里 広和			
20	ミニバスケット	小磯 良輔			
21		永澤 純一			
22		浅野 政幸			
23	中学生ソフトテニス	相子 秀夫			
24	中学生卓球	渋田 雅史			
25		後藤 渉			
26		谷 文也			
27	ミニバスケット	野村 隆一			
28	たぬま AC ASONO	阿部 信行			
29	ベースボール BBC, Neo, With	金井田 貴 河原 真二			
30	TACレスリング	八下田智明			
31	男子バレーボール	尾崎美樹生			
32	たぬまアスレチック	川田 光江			
33	V	門沢 優			

34		石澤 紫			
35	女子バレーボール	吉澤 強志			
36	たぬまアスレチック R I S E	植木 竜也			
37	小学生サッカー	齋川 勝			
38	たぬまアスレチック	高橋 雄二			
39	F C	小野 泰裕			
40	成年サッカー	坂原 秀樹			
41	たぬまアスレチック P R I M O	山菅 優佑			
42	中学軟式野球	金井田厚子			
43		石田 諭			
44		石澤 清孝			
45		平田 修久			
46	さんすう教室	平岡 達哉			
47	英語教室	儀同 昭人			
48	吹き矢	片山 武夫			

合計 48 名

創設20周年記念事業の概要

1 法人の創設に対する考え方

クラブの産声は、2005年(平成17年)2月28日の1市2町の合併を受け、関係スポーツ団体及び関係者の連携継続を図るため、同年5月19日に「総合型地域スポーツクラブ設立準備委員会」を開催したことに始まると捉えることにします。

2 設立を宣言した日

佐野市や(財)日本スポーツ協会の設立支援事業を受託し、クラブの体制整備を図り、2008年(平成20年)2月24日(日)に田沼中央公民館に於いて設立総会を開催し、設立を宣言しました。

3 記念事業の概要

(1) 創設20周年を広く周知するためのロゴマーク制作

クラブの定着したイメージ(明るさ、和やかさ、協働)をもとにして、より多くの地域の人々に当法人創設20周年を周知するためロゴマークを制作、今年度の色々な機会に掲出する。

(2) 記念Tシャツを制作し会員への配布

ア 記念Tシャツを制作し、6月10日現在の活動会員に無償で配布する。

イ 各講座の活動時や日常で着用してもらうことで、全ての会員に当法人の広告塔的役割を果たしてもらう。

手順・各講座の活動時に、希望する会員から注文するサイズを聞き取る。

・各講座の運営委員、指導者はサイズと枚数を取りまとめ、6月13日までに事務局宛報告する。

・希望者、希望したサイズは各講座で掌握し、保管・管理してもらう。

・品物が納品され次第、指導者、運営委員に報告し、直近の活動日に配布してもらう。

ウ 余剰発注はしないので、追加やサイズ変更には応じられません。

エ 入会を検討中との情報提供もありますが、6月10日現在で判断します。

(3) バスハイキングの継続しての実施

諸経費の高騰、希望者の減少等により中止を決定したバスハイキングですが、記念事業として企画していた「記念式典」と「音楽鑑賞会」が、会場確保に課題が多くて無理なので、バスハイキングを計画します。

開催時期は「紅葉」を目玉に、交通渋滞を避け平日実施で考えます。

事前踏査の結果によりますが、福島県裏磐梯方面で企画します。

(4) 今年度の「新年祝賀会」はささやかな周年祝賀会として開催します。

予定日 令和8年2月14日(土) 会場と会費は未定です。

令和7年度 中学校部活動地域クラブ化実証事業の取組み(概要)

特定非営利活動法人たぬまアスレチッククラブ

1 対象とする学校と部活動、生徒数

ア 市内全8校+佐野高付属中合同クラブ活動

陸上競技 290名

イ 田沼東、あそ野学園義務・葛生義務教育学校 3校合同クラブ活動

野球	8名	バスケ・男	23名	バスケ・女	42名
バレー・男	22名	バレー・女	43名	サッカー	37名
テニス・男	60名	テニス・女	61名	卓球・男	63名
卓球・女	19名	剣道	31名	吹奏楽	68名
					477名

ウ 県立佐野高校付属中学校クラブ活動

女子硬式テニス	35名	男・バスケ	19名
男・卓球	32名	ディベート	20名
			106名

2 指導者

陸上競技	10名	バスケット	4名	バレー	4名
サッカー	5名	ソフトテニス	5名	卓球	5名
剣道	3名	吹奏楽	3名	テニス	1名
ディベート	1名	野球	1名		42名

3 活動日 他

ア 活動する日 原則土曜日

・佐野市立…月2回(第2,4土曜日)、年間20回

・県立付属…毎週土曜日、年間36回

※ 大会、練習試合時の指導も可

イ 活動場所 ・各学校の施設 ・陸上競技は開華スタジアム

・男子テニスはKONOIKEグリーンフィールド

4 経費

ア 生徒の負担はなし…国の実証事業のため

イ 主な経費…スポーツ安全保険、指導者謝金、活動に必要な消耗品

ウ TACへの還元…事務に対する人件費、事務経費(委託額の10%)

5 今後の計画

ア 本年度までが「改革推進期間」…体制づくり

来年度からは「改革実行期間」…土曜日の活動は、地域クラブ活動
令和13年度(2031年)までに達成

イ 佐野市では、運営団体として3団体を見込んでいるようだ。

運営団体を総括する組織を立ち上げる計画が示されている。

しかし、具体的な内容は示されていない。

特定非営利活動法人 たぬまアスレチッククラブ

賛助会員募集趣意書

皆さまには、総合型地域スポーツクラブ 特定非営利活動法人たぬまアスレチッククラブ の諸活動に特段のご理解とご支援をいただき感謝申し上げます。

たぬまアスレチッククラブは、国の助成を受けた「子どもの居場所づくり」事業としてスポーツ教室を展開しつつ、三年間の準備期間を経て平成二十年二月二十日に設立宣言を行いました。今年は、設立準備委員会が始動してから二十年の節目を迎えるに至りました。以来、より公益性の高いクラブをめざし、平成二十四年十月には特定非営利活動法人(NPO法人)の登記を済ませ、関係のスポーツ協会や行政機関の支援を得つつ今日まで活動を展開して来ました。

コロナウィルスの影響を受けた期間もありましたが、昨年度は、入会者がコロナ禍前に回復し、法人の理念である「スポーツ好きな大人が、スポーツ好きな子どものスポーツによる健全な成長を支援する」を具体的に推進することが出来るようになりました。

子どもの学習支援活動の「算数教室」や「英語教室」も順調です。中学校部活動の地域クラブ化実証事業は、佐野市立田沼東中学校とあそ野学園義務教育学校、葛生義務教育学校三校の合同クラブ活動と県立佐野高校付属中学校で展開しています。中学生対象の卓球教室やソフトテニス教室、軟式野球チームの活動実践を進化させ、地域クラブ化に向けさらに加速したいと思います。その為には、地域からの信頼を高め、総合型地域スポーツクラブの役割とその期待の高まりに応えられるスポーツクラブとして一層の充実が不可欠と考えています。

そこで、会員のニーズに応える活動を計画的に推進することも含め、必要な財源確保が重要な課題であり、安定した財源の確保に尚一層の努力をしなければならないと捉えています。

つきましては、本年度も協賛会員を募りたいと思います。皆さまには、特段のご理解とご支援を賜りたく、心よりお願い申し上げます。

令和七年六月吉日

特定非営利活動法人 たぬまアスレチッククラブ 理事長